

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する

西ノ京

京都市立西ノ京中学校
学校だより ①
平成 31(2019)年 3 月 20 日
校長 内田 隆寿

祝 第 70 回卒業証書授与式

～ 感謝と決意を胸に 109 名 西ノ京からの旅立ち ～

3月15日(金)、外は穏やかな天候でしたが、体育館は底冷えがまだ残る中、平成30年度西ノ京中学校第70回卒業証書授与式を多数のご来賓をお迎えして挙行了しました。厳かな雰囲気です。式が進む中、心にグッとくるシーンもありました。親の思いがいっぱい詰まったPTA会長さんの祝辞。冒頭にこれまでの3年間の思いが涙とともに一気に溢れてきたのでしょうか。それを懸命にこらえながらよんでくれた卒業生代表の答辞。美しく歌い上げてくれた「旅立ちの日に」「夜明け」合唱。そして式後には、少し照れながら、また、笑顔を浮かべて花道を進んでいきました。卒業生の明るい未来を心より祈っています。

ここに、学校長式辞を掲載して、式の報告といたします。



式辞

三寒四温を繰り返し、新たな希望と飛躍への期待を秘めた春の息吹が感じられるこの佳き日に、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、第70回卒業証書授与式を、このように盛大に挙行できますことに厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。ただ今、卒業する109名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。これをもって皆さんの中学校3年間、そして義務教育9年間の全課程が修了いたしました。皆さんの今日の喜びと感激は、皆さん自身のたゆまぬ努力もさることながら、保護者や家族の方々の温かい育みなしには、到底果たしえなかったことを忘れることなく、今改めて、これらの人々に感謝の気持ちを持ってもらいたいと思います。

さて、今から1年半ほど前、80年以上前に書かれた物語がマンガで復活し、たった6か月で200万部を超える大ベストセラーとなりました。その本の名前は「君たちは、どう生きるか」主人公はコペル君という中学生。



まだ子どものようなところもありますが、鋭い観察力を持ち、物事をよく考えることができ、思いやりのある少年です。そんなコペル君が、近くに住む叔父さんに、日々の出来事の中で気がついた発見やそのときの気持ちを話し、それに対し叔父さんは、コペル君との対話や彼に向けて書いたノートの中で、彼の気づきに感心したり、補足したり、ときには叱ったりしながら、具体的に説明しづらい、また、正解のない事柄についてコペル君の学びを発展させ成長していく物語です。

この本が書かれた1937年は、第二次世界大戦に突き進んでいく時代、同調圧力のような、少しでも政府の方針に違反すると周りから批判される重苦しい雰囲気がありました。それから80年の時を経た今、なんとなく空気を読むことを求められたり、ネットですぐに炎上したり、周りをみて忖度したりと、原作が出版された当時と共通したようなものが感じられます。また一方で、今から10年後、皆さんの多くはすでに社会人としてしっかり働いている頃、世の中では人工知能：AIの出現によって、「今ある仕事の47%はコンピュータ化される」「今の子供たちの65%は現在存在しない仕事に就く」など、将来の変化を予測することが困難な時代に突入します。そんな時代を生き抜いた



めに何が必要か。それは、正解のない事に対して自分の頭で主体的に考えられる力です。これはまさしく、これから何を大切に、「どう生きていくか」ということをしっかりと考えていくことです。

皆さんは、今回、自らの進路実現について考え抜いて挑戦をしました。これは皆さんにとって正解のない問いでもありました。それは、単に学校を選んだということではありません。生き方を考えたうえでの今という瞬間での判断でした。考えて選んだ先によって、大切なもの・ことが変わります。関わる友達・人々が変わります。その時その時の判断で、少しずつ生き方が変わっていくのです。そのことをしっかり意識してください。

本の中にこんな言葉があります。「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている。だから、誤りから立ち直ることも出来るのだ。」

今後、更なる岐路が皆さんの前に広がっていきます。時には辛いこと、失敗することもあるでしょう。しかし、自分で考え判断する以上、何も恐れることはありません。毎日、皆さん一人一人が生み出し、身に付けた力を感じながら、「どう生きるのか」をしっかりと考え、歩みを進めてほしいと願っています。

そこで、結びとして、皆さんに言葉をひとつ紹介します。それは、『ノー・プレッシャー、ノー・ダイヤモンド』 直訳すると『圧力をかけなければ、ダイヤモンドは出来ない』という意味です。実は、ダイヤモンドという物質は炭素という

元素から出来ています。その炭素がゆるく固まると炭になり、少し力が加わると黒鉛という物質になり、さらに強い圧力と高熱が加わった時に地球上で最も堅い構造の一つである立体的なダイヤモンド構造が誕生するのです。皆さんのこれからの目標をダイヤモンドだとすると、その目標を達成するためには、時として大きな圧力や高温、つまりは自分自身に大きな負荷をかけなければ、自分自身のダイヤモンドを作ること出来ません。最大限の努力をすること、それは時に辛いこともたくさんあります。しかし、それを踏ん張って乗り越えた先にあるもの、それが自分自身の見事な輝きを放つダイヤモンドが完成した瞬間です。私は皆さんが合唱コンクールでそれぞれのクラス毎に、よりレベルの高い楽曲に挑戦し、練習を重ね、ステージで見事に歌い上げたその瞬間に立ち会いました。『ノー・プレッシャー、ノー・ダイヤモンド』これからまだまだ続く人生、地道な努力を積み重ね、自分自身のダイヤモンドを完成させ、そして社会へと羽ばたいていってくれることを心から願っています。

最後になりましたが、ご列席の保護者の皆様。お子さまのご卒業、誠にありがとうございます。三年間にわたり皆様のかげがえのないお子様をお預かりし、われわれ教職員一同、精一杯努力を重ねてまいりました。中には至らぬ点もあり、ご心配をおかけしたこともあったかと存じますが、本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。本日卒業していく生徒たちのこれからの成長と、私たちの西ノ京中学校の発展に対して、ご臨席いただきましたご来賓の皆様ともども、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん。いよいよお別れの時です。創立70周年の大切な節目の年に、西ノ京中学校を見事に創り上げてくれた皆さんの、限りない前途を祝し、これからも心豊かでしなやかに生きていかれることを心より祈念しながら本日の式辞といたします。

平成31年3月15日 京都市立西ノ京中学校長 内田 隆寿



お知らせ

●離任式 3/29(金) 集合 9:00 開式 9:15

離任教職員のお名前は、3/22(金)12:00以降に、校内掲示板・学校ホームページで発表します。

●始業日 4/8(月) 登校 8:35 クラス発表・着任式・始業式

※ 学校だより『西ノ京』も、これが今年度最終号です。この1年間、どうもありがとうございました。

